

会議開催概要

| | |
|------|--|
| 会議名 | 第8回 菊川市総合計画庁内策定委員会 |
| 日時 | 平成27年8月12日(水) 10:30~12:00 |
| 場所 | 菊川市役所 201.202 会議室 |
| 出席者 | 副市長、教育長、他委員8名、事務局4名 |
| 議事 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合戦略策定に伴う素案の検討について (2) 第2次菊川市総合計画「基本構想」骨子(案)について 4 その他 5 閉会 |
| 議事要旨 | <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言 ・資料確認 <p>2 委員長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の審議会は、前回の庁内策定委員会及び第4回総合計画審議会での意見を基に修正した総合戦略の素案と第2次菊川市総合計画の骨子(案)の議事になり、総合戦略については事業の最終確認、総合計画については将来像と基本目標についての確認になります。皆さんの忌憚のないご発言をお願いいたします。 <p>3 議事</p> <p>(1) 菊川市版総合戦略策定に伴う素案の検討について【資料1】 (事務局説明)</p> <p>委員長 : ただいま事務局より総合戦略について説明がありましたが、特に基本目標の1と2について、この案で良いかということ、また、基本施策については、目標を数値化するという点で、この目標で良いか、事業展開の方向性については、まとめ方について良いかという点について議論いただきたいと思います。</p> <p>委員 : 基本目標の1について、「菊川に住み、きくがわで育て、」とありますが、「育ち」の方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>事務局 : 事務局でも「きくがわで育て」か「育ち」かの議論はしました。基本目標のイメージとしては、市に帰ってきてもらう、住んでいただいた後に、結婚して子どもを産み、その子どもを育てていただくことをイメージし「育て」にしています。</p> <p>委員 : 基本目標の1を読み違和感がありましたが、文法的にということになりますが、人口を増やすことをイメージすると、「きくがわに住む人を増やす」、「きくがわで育てる人を増やす」ということになると思いますが、ここは、「きくがわで育つ人を増</p> |

やす」という意味の方が、人口を増やすことにつながると思います。「育ち」の方が言葉としてよいのではないのでしょうか。

委員 : 「きくがわ」をひらがなにするのは理由がありますか。

事務局 : 漢字であらわすと河川をイメージしてしまうので、漢字であれば菊川市となりますが、市まで入れると堅いイメージがあるため、ひらがなにしてお柔らかさを出しています。

委員 : 評価指数の関係の目標値について、現状を見ると減少していく指標もあると思います。事業によって成果指標の設定が非常に難しい項目もあると思いますが、担当課と協議はしていますか。

事務局 : 指標の資料を14日までに提出していただくようにしています。その後担当課と協議したいと考えています。他自治体では、目標に対し現状、減少していく項目もあるかと思いますが、減少を抑えていくという評価指標もあります。

委員 : 基本目標の件ですが、「育て」を「育ち」にすると、「きくがわで育ち、きくがわに住み、きくがわで輝く」の順になり、一世代で終わってしまうイメージになります。案の基本目標では、「きくがわに住み、きくがわで育て、きくがわで輝く」という次の世代への循環というところを考えています。

委員 : 「育ち」であると菊川市民だけのイメージになると思います。「育て」であると市民だけでなく広がりがあると思います。

委員 : 評価指標についてですが、基本目標に対して数値を調べようとしているのが、婚姻数や住宅施設であるが、その数値が目標に対して結びつく数値ですか。指標の関連性があるのでしょうか。事業の指標と基本施策の指標が直結したものの方が良いのではないのでしょうか。

また、ふるさとへ人を戻そうとしていると思うが、ふるさと志向力のアンケート結果によると、働くところがたくさんあるのであれば帰ってきたいという意見が多くありました。このように働く場所を創るのがポイントとなると思いますが、企業を誘致や仕事を創生する事業については、この戦略とは別にしていくのでしょうか。

事務局 : 大きな企業誘致などについては、担当部とも協議をしましたが、工業団地を造る用途の中が水処理の問題など様々なものがあり一步踏み込めない状況です。企業誘致に関しては、既存の用地も含めて、市としてどのように考えていくのか検討していかなければなりません。この件については総合計画で示していくことは必要と考えています。

委員 : 基本目標になりますが、「きくがわで輝く人」を増やすというより、戦略では人を増やすことが目標ですので、「きくがわに住み、きくがわで育て」だけにしてもよいのではないのでしょうか。

事務局 : 「輝く」を入れたのは、基本施策の④の中に健康寿命の向上等の指標がありますので、そのあたりを基本目標に含ませた形で言葉として入れてきたいという思いがあり入れさせていただきました。削除したほうが分かりやすいということでありましたら、この委員会で検討していただければと思います。

委員 : 以前は、「地域で健康に暮らせるまち」といういい方でありましたが、それが、いつまでも輝けるに変わっているのでしょうか。

事務局 : 前回の資料ですと、1-③の「地域で健康に暮らせるまち」に係る事業につきましては、中間支援センターの設置があり、中間支援センターへの支援というものも含んでいましたので、そこを含めた言葉にしたかったという思いがありました。「輝く」という言葉が適切かどうかは議論になりますが、元気でいきいきと長生きしていただくことと、コミュニティ活動で生きがいをもって暮らしていただく、この2点を含めた形で「輝く」と表現させていただいています。

委員 : 「きくがわで輝く」というのは、色々なことをイメージしますので、入れ込むことはいいと思います。基本目標の「きくがわで育ち」についてですが、基本目標の2-①に子育てや教育環境の充実があるので矛盾していないのでしょうか。基本目標の1については、「きくがわに住み、きくがわで輝く」人を増やすということにすれば施策につながるのではないのでしょうか。「きくがわで育ち」の部分の基本目標の2に入れた方がよいのではないのでしょうか。

事務局 : 基本目標の1の「きくがわで育て」を取り除いても、意味はすっきりしますし、影響はないと思います。

基本目標の2については、この「育て」を入れなくても、菊川市の魅力として教育環境等も含まれていますので、そのままでもよいと思います。

委員長 : 基本目標1は、「きくがわに住み、きくがわで輝く人を増やす」
基本目標2は、「きくがわへ惹きつける魅力を強化する」
でよろしいでしょうか。

(意見なし)

委員 : 「きくがわに住み、きくがわで輝く人を増やす」の評価指標が、婚姻数と住宅取得ですが、この目標を表す指標になりますか。それから、婚姻数については、平成

26年度と平成31年度の単年度で捉えると、その年度の情勢等もあり非常に厳しいものではないでしょうか。

委員 : その指標は難しいと思います。人口に対する婚姻率であるとか、指標の回り方を一緒にしておかないと無理があるのではないのでしょうか。

事務局 : 今回の資料にはありませんが、この計画を行い何人増やすのかというところで、5年で300人という数値を持っています。積みあがった数値で目標達成されるよう考えています。300人の増の中には出生と転入の増を見込んでいます。このため、婚姻数が増えないと出生が増えないので、婚姻数を成果指標にしています。ただ人口が減り対象数が減ることという意味では、数ではなく率にすることもありますが、シビアに見ていくなれば数を載せていきたいと考えています。住宅取得については転入の増ということで数値を拾えるものはこのあたりではないかと考えています。また、新規就農者数を指標に入れたのは、審議会の中で、菊川市は農用地面積が多いのが特徴的なところということで、農業から見るとこの指標であると考えているところです。

委員 : この平成26年度と平成31年度を単年で比べるのは、なかなか厳しいと思う。再度、評価指標を数にするか率にするかは考えてほしいと思います。

委員 : 1-③アクセスの良さを活かした住環境の整備の数値目標ですが、住宅取得補助制度というものは現在ありませんので、平成27年に0人という表記は違うのではないのでしょうか。

委員 : いま言われたのは、項目によってですが、住宅取得でいうと、平成31年度に何人というのではなく、平成31年度までに何人というような指標で良いのではないのでしょうか。婚姻数も突発的な事情があって平成31年度だけ下がってしまうことも考えられるので、トータルとして5年間での指標にした方が良いのではないのでしょうか。

事務局 : 現在、各課にお願いしている調査のなかで、単年度ごとの目標も入れていただいています。本日意見があったものについては、5年後の累計の目標もあります。

委員 : 住宅取得補助制度の指標については、現在制度も無いので、「制度なし」とでも表記していいのではないのでしょうか。

事務局 : 各課から提出された調査を基に、担当課と再度調整させていただきます。

委員 : 基本目標2で、合計特殊出生率がありますが、指標が平成29年度までになってい

るが、平成 31 年度の数値が出せないでしょうか。平成 31 年度の一定の最終目標は出しておいた方が良くと思います。

事務局 : 合計特殊出生率につきましては、厚労省統計から数値を拾っていますが、現時点での最新が、平成 20 年から平成 24 年のものです。単純に 5 年たつと平成 25 年から平成 29 年ということで、平成 31 年にいちばん近い数値になりますので、このように表記しています。分かりやすく表記するよう再度考えます。

委員 : 「輝く人を増やす」に対しての目標は何かありますか。

事務局 : この戦略は、転入の人口増というものを目標にしていますので、それにあった大きな指標を基本目標に持たせていただいています。「輝く人」については、基本施策のところで健康寿命を指標で持たせていただいています。

委員 : 駅北口の表現の仕方ですが、北口を入れた理由は、平成 25 年の 8 月に駅北の用地を購入する時に、全協に駅北口構想の検討として説明しているなかで、同じ表現にさせていただきました。実施計画のなかでも駅北口調査などと計上していますので、同じ表現にさせていただきました。

委員長 : 駅北口の表現については、このままで表現していくことでよろしいですか。
(意見なし)

事務局 : 全協では、現在このような方向で表記していると報告しますが、この計画を公表するまえに一度、JR には話をしていきたいと思います。

委員長 : この総合戦略につきましては、決定事項として、基本目標 1 は「きくがわに住み、きくがわで輝く人を増やす」、基本目標 2 は「きくがわに惹きつける魅力を強化する」とさせていただきます。基本目標の数値目標については、再度調整してください。また、基本施策の目標については、率で捉えるか数値で捉えるか再度検討願います。事業展開の項目については原案どおりということよろしいでしょうか。
(意見なし)

それでは、続きまして議事 2 の説明をお願いします。

(2) 第 2 次菊川市総合計画「基本構想」骨子(案)について 【資料 2】

(事務局説明)

委員長 : 説明がありましたが、基本目標の社会教育の部分について「子どもがいきいき育つまち」から「健康で元気に暮らせるまち」に移したことについてのご意見はあり

ますか。

委員 : 「快適で安心して暮らせるまち」のなかの公共施設の維持管理とありますが、前回の時に削除しておくとの話がありましたが、掲載されています。これはどういうことでしょうか。

事務局 : 現在公共施設のマネジメントで考えているものが、事業化していくと、インフラの中に入ると考えて掲載させていただきました。

委員 : 言葉として、維持管理が良いでしょうか。

事務局 : 経営方針の中で公共施設のマネジメントを行っていきます。総合管理計画を作成する兼ね合いで、長寿命化をするなど様々ですので、掲載させていただきました。維持管理という言葉が良いかは、再度検討させていただきます。

委員 : 基本目標のバランスとして、数的な話になりますが、「まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち」はキーワードが少ないですが、数的にそろえた方が良いと思います。

事務局 : 「まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち」のキーワードについては、入れさせていただきます。

委員 : 以前言われたことですが、インフラなどあまり横文字を入れると市民は分かりにくいとの意見もありましたので、掲載の仕方を変えた方が良いと思います。

事務局 : インフラにつきましては、社会資本整備と変えさせていただきます。

委員長 : それでは、基本目標、方針については、意見が出た個所を事務局で、再度検討していただきたいと思います。

つづきまして、将来像についてある程度固めたいと思いますのでよろしく願います。

委員 : 案1が良いと思います。案1を議会や審議会にかけていけばよいと思います。
(各委員賛同)

委員長 : それでは、骨子としては、理念については、「共に生きる」「自らを拓く」「未来へ歩む」、将来像は「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」ということでよろしいでしょうか。

よろしければ、この(案)を議会や審議会へ提案していくということでもよろしいでしょうか。

事務局 : それでは、将来像は、「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」の1案を議会や審議会に挙げていきたいと思います。

また、審議会委員はこの案で議会に説明することについて、市議会全員協議会までに説明しておきます。

委員長： 長時間にわたり、議論していただきありがとうございました。

4 その他

事務局： 本日の資料を基に、市議会全員協議会に説明をしていきたいと思ひます。全員協議会の前に8月19日に庁内策定委員会を開催し、最終の確認をいただきたいと思ひます。

また、年度初めにお話しさせていただきましたが、この委員会につきましても資料や議事録をホームページ掲載させていただいています。職員の一部ではありますが、内容を公表しているということを知らない職員もいますので、委員会に出ている資料については、ホームページに掲載されていることを今一度周知をお願いします。

5 閉会

副委員長： 長時間にわたりありがとうございました。特に今回は「住み良いまちづくり」をすることが大きなポイントであり、総合戦略や総合計画の議論を重ね、ある程度の形になってきました。それぞれの立場で総合戦略や総合計画がうまく進行できる今後も進めていきたいと思ひます。本日はお疲れ様でした。

以上